

藍の都

地域の方々と共に育む、
当院がお届けする健康だより

いるか通信

Vol.4

Take Free

A I N O M I Y A K O D O L P H I N N E W S L E T T E R

INDEX

- P.1-2 内頸動脈ステント術 絶対安全性確保に向けての挑戦 シリーズ①
rTMSについて
心臓と血管の病気③ ～睡眠時無呼吸症候群～
- P.3 第2回 藍の都脳神経外科病院「公開市民医学講座」開催しました!!
認定看護管理者ファーストレベル修了しました!
- P.4 患者様ファーストの向上を目指して ～2017年度MVA決定～
- P.5 回復期リハビリテーション病棟での看護師の役割とは?
縁の下の力持ちとして
- P.6 【開院6周年事業】
 - 彩りの都デイサービスセンター城東永田 開設
 - 食堂Caféの改装について
- P.7 理事長のごあいさつ



彩りの都デイサービスセンター城東永田 開設

内頸動脈ステント術 絶対安全性確保に向けての挑戦 シリーズ①

開設から140例実施を超えました。(脳神経外科手術総数1,125例中)

理事長・院長 佐々木 庸

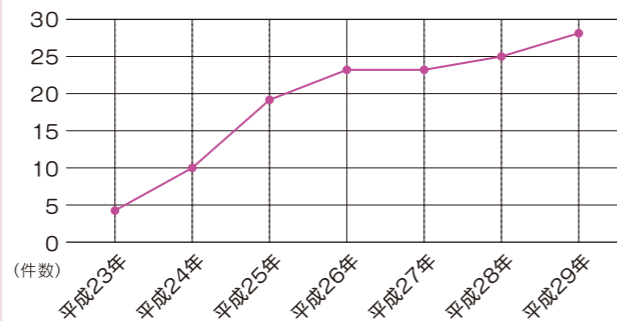
内頸動脈ステント術は、脳を栄養する大血管である内頸動脈の首の部分で細くなった狭窄に対して開発された最先端手術で脳血管内手術専門医を修得した医師に限り執刀ができます。当院では関西ろうさい病院 脳神経外科部長 豊田真吾先生や大阪大学脳神経外科 重松朋芳先生(現在米国ニューヨークに留学中)のご指導の下、私(院長 佐々木庸)や院長顧問 永島宗紀Dr、副部長 矢野達也Dr、関西医科大学 岩田亮一Drの4人の脳血管内手術専門医を中心に現在までに140例を超える患者様に施行させていただきました。



血管内治療

当院での実施の特徴として、手術時間の短縮ではなく、安全性にこだわった取り組みを徹底的に地道に実施していることです。その1つがEVT(脳血管内手術)術前検査の実施です。循環器内科部長 山平浩世Drの協力で、針を刺す右大腿動脈から頸動脈に至る動脈に解離(血管がもろくなっていてカテーテルがこすれて血管が破裂したり動脈瘤ができることがある大変怖い状態です。)などの手術トラブルとなる原因が無いかどうか、手術前にしっかりとチェックし行うことにしています。今まで140人にEVT術前検査を実施することで、解離を術前に発見できたのは約2%(3名)で、その3名においては、大腿動脈ではなく右の腕の動脈から実施することで安全に行うことができています。

●当院での内頸動脈ステント術 実施件数



rTMSについて

反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS)とは頭表上に乗せたコイルから電磁波を用いて脳を刺激する技術です(図1)。従来は脳のどこで何をしているのかを調べる検査技術でしたが、反復して刺激することで脳活動性を制御できることがわかり、脳症状に対する治療としての研究が進められています。

脳は電気で動くため外部からの電気でも刺激可能ですが、問題はその脳を包む頭蓋骨です。人間の体で最も電気抵抗が高いのが骨であり、頭蓋骨の外からの通電にはかなりのパワーを要します。実際にそのような電気治療は存在しますが、かなり強い痛みを伴いますし、刺激される部位は広くばやけてしまいます。一方このrTMSは電磁波を用います。電磁波は無痛性に頭蓋骨を通過可能であり、脳の内部で局所的な電気に変換されます(図2)。容易に骨を通過できるからこそ必要最小限の強さの電磁波で済み、極めて焦点的な脳内刺激が可能です。

東京慈恵会医科大学
リハビリテーション医学講座
准教授 診療副部長 佐々木 信幸



現在までに、脳卒中の上肢麻痺・下肢麻痺に対して有効であることがわかっており、急性期における効果は不明確な部分も残っているものの、神経保護作用がある可能性も指摘されています。その他にも嚥下障害・失語症・注意障害・自覚性低下といった様々な脳由来症状に効果が期待されています。

患者様はリクライニング車いすの上で数十分間寝ているだけです。これを連続して数日間施行すればその効果は持続します。理論上はてんかんの副作用の可能性があります、近年の基準に則った方法ではリスクは皆無といえます。rTMSはまだ保険適用されていない研究段階の治療であり、希望者が皆受けられるようなものではありません。研究の条件に合致し、参加に同意いただく必要があるため、詳しくは病院スタッフまでお尋ねください。

心臓の血管の病気 ③

～睡眠時無呼吸症候群～

第3回目は、「睡眠時無呼吸症候群」についてお話ししたいと思います。

「あれ?それって心臓病や血管の病気と関係あるんですか?」という声が聞こえてきそうですね。実は、とても関係が深いのです。

睡眠時無呼吸症候群は、睡眠中に何度も呼吸が止まった状態(無呼吸)や止まりかける状態(低呼吸)が繰り返される病気です。その結果、どんな症状が起こるかという、日中の眠気を引き起こし、交通事故などの原因の1つとされています。新幹線・バスの運転手さんの事故などで、ご存知の方も多いと思います。

でも交通事故の問題だけではないのです。実は、このような夜間に低酸素状態になっていることが、高血圧

症・心房細動(不整脈)・脳卒中・心筋梗塞・糖尿病などの合併症を引き起こしやすくしています。



循環器内科 部長 山平 浩世



高血圧の危険性は2倍

脳血管障害の危険性は4倍

脳血管障害の危険性は4倍! 心筋梗塞の危険性は4倍!!

一般的には、太った体型の人に多いとは言われていますが、痩せている方にも見られます。症状は、「いびき」「日中の眠気・倦怠感」「不眠・中途覚醒」「起床時の頭痛・頭重感」「夜間頻尿」などがあります。

検査としては家庭で行える簡易式睡眠ポリソムノグラム(簡易式PSG)と、1泊入院していただき、睡眠中に脳波も同時記録し、詳細な検査を行うフルPSGがござ

います。当院では、どちらの検査も行っております。

このような症状がありましたら、当院循環器内科に一度ご相談ください。



虚血性心疾患の危険性は3倍

心筋梗塞の危険性は4倍

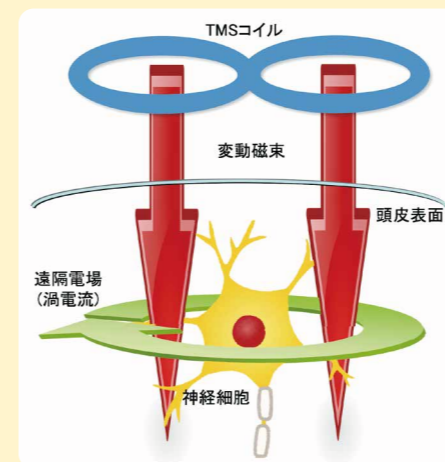


図1: rTMSの仕組み



図2: rTMS治療風景

第2回 藍の都脳神経外科病院 「公開市民医学講座」を開催しました!!

10月14日、榎本福社会館におきまして、『血管が悪くなるとうなるの?』をテーマに第2回公開市民医学講座を開催しました。当日は午後から小雨が降る中、50名を超える方々にお越し頂きました。

血管が詰まることで起こる病気を防ぐため、佐々木理事長からは脳梗塞の予防について、山平循環器部長からは足の血管におこる閉塞性動脈硬化症について、宮崎医師からは認知症に勝つコツについて講演しました。講演後は脳梗塞後のマヒやリハビリについて質問も頂き、盛況に終了しました。

回収したアンケートにも、第3回を望むお声をたくさん頂きました。定期的開催し、地域

の方と交流し、役立つ会にしていきたいと思



薬剤部 科長
矢野 千寿子



参加者を前に講演する佐々木理事長

認定看護管理者ファーストレベルを修了しました!

ファーストレベルとは、日本看護協会が看護管理者の育成システムを整える目的で、始めた研修制度で、看護管理の基礎7教科159時間を、仕事と並行しながら、約3か月かけて学びます。

仕事をしながら学習する事は大変でしたが、現場をリアルに学びにいかすことができ、自身の課題や取り組むべき事が明確になりました。

また、学びを支えあえた80名のクラスメイトとの出会いは、私の看護師人生においても大きな刺激となり、また大きな財産となりました。

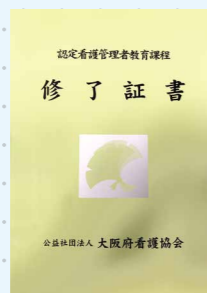
看護管理者として、藍の都の合言葉である『患者様ファースト』を第一に、看護の質向上を目指し、スタッフがイキイキと働き続けられる職場づくりにも、研修での学びを生かし、取り組んでいきたいと思



看護部 師長 土海 由紀



研修メンバーとの1枚(執筆:後列左から2番目)



認定看護管理者教育課程の
終了証書

2017年度MVA決定

患者様ファーストの向上を目指して

MVAとは、Most Valuable Ainomiyakoの略称です。私たち藍の都脳神経外科病院は、脳卒中急性期手術を担う病院として、技術研鑽は当然として求められます。しかしそれだけではなく、藍の都チームのメインテーマである“患者様との双方向性の信頼関係を構築しながら、患者様ファーストに徹していくことでオンリーワンの病院に成長する”を職員一同日々実践して参りました。

この1年間を通して高いチーム貢献をした3名を選出し、それを可視化して職員の方々の目標とするとともに、敬意をもって讃える、というのが目的です。

厳正な審査の結果、今年度は以下の3名に決定となりました。



左:船谷 則子・中央:岸 哲史・右:池永 睦子

●岸 哲史 (リハビリテーション部)

2017年度MVAに輝きました!リハビリテーション部所属、理学療法士 AB型 おうし座 岸哲史(きし てつじ)37歳です。所属はリハビリテーション部ですが、2年前より今津北で彩りの都デイサービスセンターのセンター長をしています。

私はもともと徳島県民で、藍の都脳神経外科病院の立ち上げに際し大阪へ移り住んで6年になります。地域のソフトバレーチームに所属しており、毎週水曜日は小学校で頑張っ

て練習しています(※チームメイト募集中です)。地域の皆さまに愛される病院・デイサービスになれるよう頑張りますのでよろしくお願い

●船谷 則子 (藍の都ケアプランセンター主任)

藍の都ケアプランセンター所属の船谷則子と申します。縁あって平成27年1月に入社致しました。

学生の頃から福祉に携わる事が夢で、介護保険制度ができてからこの世界に入りました。人からは「天職だね」と言われますが、自分の好きな仕事

ができて幸せだと思っています。愛媛県生まれの大阪育ちで、少し訛りがあるのか地方出身だねとよく言われます。趣味は自然を求めてカメラを片手にブラリと出かける事と、日曜大工が大好きで何かを作ったり、壊したりするのが得意です。

●池永 睦子 (2階急性期病棟看護師)

海外に興味を持ち始めたのは2010年から、旅行に行くようになり、突然「留学したい!」と思い立ちカナダへ留学しました。ほぼ英語力ゼロで留学し、いろんな国の方と出会い、文化・習慣・考え方の違いに驚き、戸惑いながら心の中で「何でやねん!」と突っ込みをいれ、生活をしていました。藍の都看護チームの国際化という大きなプロジェクトに自分の海外経験が活かされたことは、とても光栄なことと思っています。

今回、このような賞を頂いたのも、2階病棟スタッフの協力や柔軟な対応で中国看護師3名を迎えることができ、本当に感謝しています。1名は看護師として、2名はこの春に国家試験を控え頑張っている姿はとても素敵で頼もしく、私にとって良い刺激になっています。

回復期リハビリテーション病棟での 看護師の役割とは？

看護部 副師長 利川 真弓

私たちの病棟では予期せぬ病気発症により身体的・精神的な障害が残存されてしまった患者様に対し、身体機能の回復や日常生活における動作の改善を図り、また社会やご家庭への復帰を目的とした看護を提供しています。

具体的には日々、患者様が安全にリハビリを受けていただく為の健康管理を私たち看護師が担い、個別リハビリで習得した「できる日常生活動作」を「している日常生活動作」へ繋げていけるような看護を目標としています。

また、今回回復期リハビリテーション病棟は平成27年5月に回復期リハビリテーション病棟1の認定を取得致しました。回復期リハビリテーション病棟1の認定を受ける為には、より充実したスタッフの配置や高い在宅復帰率、重症患者様の受け入れが求められます。その為当病棟では医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語

聴覚師・ソーシャルワーカー・薬剤師・管理栄養士等のスタッフによるチームアプローチを重要視し、質の高い看護・リハビリテーション・医療の提供を心掛けています。

患者様、ご家族様と定期的に面談を行い、患者様おひとりおひとりに沿った身体的・精神的・社会的サポートができるようチーム一丸となって、全力でご支援できるように努めていきたいと思っております。



執筆者：前列中央

縁の下の力持ちとして

理事長総務室 近記 郁子

理事長総務室は、理事長直轄の部署として総勢13名のスタッフ(2018年1月現在)が社会医療法人ささき会の関連施設(藍の都脳神経外

科病院・彩りの都デイサービスセンター・彩りの都サービス付き高齢者向け住宅)の統括事務業務を行なっています。

業務内容は、庶務・人事・労務・経理・営繕管理・物品購入・広報・秘書など多岐にわたり、幅広い知識とスキルが求められます。患者様と直接接することは少ない部署ですが、スタッフが業務に集中できるようサポートしています。各個人が法人全体の経営に携わる業務を行なっているという意識を持ち、今後も日々業務に取り組んでまいります。



執筆者：後列左端

開院6周年事業



★彩りの都デイサービスセンター城東永田 開設

彩りの都デイサービスセンター城東永田 センター長 西岡 将

彩りの都デイサービスセンター城東永田センター長の西岡と申します。平成30年1月4日から城東区永田に2店舗目となる、デイサービスセンターを開設することになりました。

私は藍の都脳神経外科病院で脳卒中リハビリテーションを中心に6年半従事してきました。最近のリハビリテーション事情として、電気や磁気刺激などを用いて脳を直接的に刺激する機器やロボティクス、ボツリヌス治療などと従来のリハビリテーションとのコンビネーションさせるリハビリテーションが主流になってきています。

しかし、在宅系リハビリテーションには、患者様が当院の様な医学的根拠に基づく最先端リハビリテーションが継続できる施設はなく、せっかく入院中にリハビリテーションにて獲得した身体機能も維持することすら困難な状態でした。

このことを危惧し、藍の都脳神経外科病院の最先端脳卒中リハビリテーションのノウハウを彩りの都デイサービスセンター城東永田でも提供できるようにしたいと思いました。彩りの都デイサービスセンター城東永田の大きな目標として“介護保険下で脳卒中に特化した最先端医療型リハビリの提供”に挑戦します。今後の活動報告ができるようにしっかりと頑張っていきます。



執筆者：後列左端

★食堂Caféの改装について

理事長総務室 室長 石田 ひとみ

今回、開院6周年事業の一環として、職員食堂の改装を行いました。開院時の職員は70名ほどでしたが、病院の規模拡大に伴い増加していき、現在では法人全体で250名を超える大所帯となりましたが、食堂は開院当時のままの広さであったため、手狭な状態が続いておりました。開院6周年を迎えた本年、院内の配置を見直し、今回の改装に至りました。

職員が食事休憩をゆったりと過ごしてもらえるように工夫を凝らし、明るさを確保した食堂Caféに改装いたしました。現在では、各所属部署での小グループの勉強会等にも利用されており、今までよりも、充実した食堂Caféとして活躍しています。

これからも、職員の休憩空間が、業務への活力となり、患者様へのサービス向上に努めてまいりますようお願いしております。



充実した空間として改装された食堂Café

平成23年の開院火入れよりご利用いただいている患者様、患者様ご家族、また日頃よりお世話になっている救急隊の皆様、地域診療所先生方には当院の取り組みに温かいご理解ご協力を頂き心より感謝しております。どうぞ今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほどお願い致します。

春寒がいつそう身にしみるこの季節、医師研修時代を過ごした北海道札幌に淡いノタルジクな想いを馳せざるを得なくなる今日この頃です。北海道はこの季節スキーが主力のスポーツとなり、勤務終了後にジャンプ台近くにあるバンケイ市民スキー場で滑った後、スキノで北の食材に舌鼓をうったものでした。道外の視点では刺身などの鮮度がいい、とお思いかと存じますが、実は脂ののった焼き魚が主役であることはあまり知られていません。

さて、前号では張り切り過ぎて専門的内容が多くなってしまい、チーム内のフランクな情報のご提供が今一つであったという反省から、今回積極的に修正をしています。また麻酔科李部長のコラムで気道挿管しているのではなく経鼻チューブを挿入している写真に差し込み違えておりましたこの場を借りてお詫び申し上げます。まだまだ粗削りではありますが、大阪東部地区で無くてはならない病院に成長すべくチーム一丸となって日々研鑽しています。どうぞハートある250名の熱いチームの鼓動を感じて頂ければ幸いです。



理事長・院長
佐々木 庸

〈主たる資格等〉
医学部系資格
日本脳神経外科学会専門医(札幌 中村記念病院 研修)
日本脳卒中学会専門医(札幌 中村記念病院 研修)
日本脳血管内治療学会専門医(神戸医療センター中央市民病院 研修)
西安交通大学医学部客員教授

経営学部系資格
経営学修士(神戸大学大学院MBA)

〈診療のご案内〉

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00 (受付 8:45~11:30)	○	○	○	○	○	○	△
14:00~17:00 (受付 13:30~16:30)	○	○	○	○	○	△	△

- 診療日：月～土曜日(土は午前中診療)
- 休診日：日曜・祝日・年末年始(12/30~1/3)
- ◎救急外来は24時間診療です。＊診療科により異なる場合があります。

〈面会のご案内〉 平日 14:00~20:00 / 土日祝 11:00~20:00
ICU・SCU 14:00~15:00 と 19:00~20:00

社会医療法人 ささき会
藍の都脳神経外科病院
AINOMIYAKO NEUROSURGERY HOSPITAL
大阪市鶴見区放出東2丁目21番16号
Tel.06-6965-1800 FAX.06-6965-1600
URL. <http://www.ainomiyako.net>

